

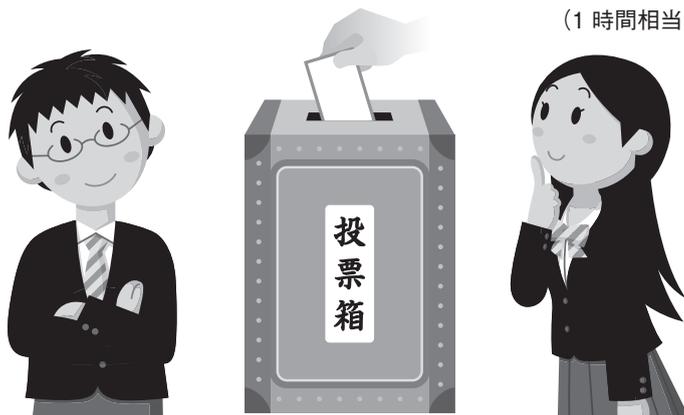
Work Sheet

18歳選挙権に向けて

—読んで考えて整理しよう—

【2026年】情報更新

(1時間相当のご授業に最適な教材です)



選挙期間外の学習用教材

※選挙期間中の授業では扱わないで下さい。

2015年6月の公職選挙法の改正により、2016年6月以降の国政選挙から選挙で投票できる日本国民の選挙権年齢が、20歳以上から18歳以上に引き下げられました。このワークシートは、新たに選挙権を得て選挙に臨む皆さんが、実際の選挙で困らないように、選挙に向けた基本的な考え方や、投票にむけた疑問などを解決できることをねらいとしています。

清水書院

● ● ● 選挙に行くために ● ● ●

隆史：投票に行ったほうがいいことは分かったけれど、候補者のなかからどういう基準で投票先を選べばよいか、自分ではよく分からないんです。

先生：なるほど。じゃあちょっと考えてみようか。たとえばあなたは、どのようなところを見て投票する人を選ぶだろうか？ いま、思っていることで答えてみよう。

作業3 (○を付けて下さい)

あなたは、候補者の顔や声	新聞やテレビの評判
友人の紹介	選挙活動の熱心さ
政党や政治家のホームページ	SNSなど
その他 ()	で選ぶ。

先生：投票の基準がまったくないと困るよね。そういう時は候補者の所属する政党に注目して考えてほしいな。というのは、現代の議会政治では、政党単位で意見をまとめ、一致して行動することが多いからなんだ。政党は、考え方や意見が同じような人たちの集まりだからね。

国政選挙がある時には、各党は必ずマニフェストや政権公約を発表する。これを投票前に手に入れて比較したり、新聞やインターネットに載る「まとめ」などで読んで比較してほしい。

憲子：聞いただけで難しそう！ 私たちでも読めますか？

先生：たしかにすべて読もうとするのは、大変だね。まず、今の自分にとって何が望ましい政策なのか、1つでも2つでもいいから、考えて欲しい。自分なりの「争点」をしぼって比較するんだ！

隆史：僕はなんだろう。戦争に巻き込まれるような日本にはならないでほしい、とか。

憲子：私は、将来どんどん働きたいので、女の人の働く環境を考えてほしいわ。



作業4 あなたにとって望ましい政策を考えると、重要と思うテーマを2つ選んで下さい。(○を付けて下さい)

政治とカネ	子ども・子育ての問題	外交・安保問題
消費税・経済・財政問題	社会保障の問題	地方・農業などの問題
その他 ()	の問題	

先生：自分にとっての「争点」となるテーマはしぼれたかな？ では、右の資料「政党のマニフェスト要約」を見て、自分の「争点」となるテーマについて、各政党がどのような政策を提案しているかチェックしてみよう。そして、自分の意見に近い政策に「○」、自分の意見と違う政策に「×」をつけてみるんだ。

2026年2月の衆議院議員選挙 政党のマニフェスト要約（衆議院での議席数が多い政党）（『日本経済新聞』2026.1.28）

	経済・財政	外交・安保	社会保障	政治改革	家族・子育て
A党	<ul style="list-style-type: none"> 「責任ある積極財政」の下、強い経済を実現する。財政の持続可能性を確保しながら大胆な投資で力強い経済成長につなげ、投資と成長の好循環を生み出す。 政府債務残高の国内総生産（GDP）比を着実に低下させ、市場の信頼を確保する 食料品を2年間に限り消費税対象としないことについて、「国民会議」で財源やスケジュールなど実現に向けた検討を加速する 17の戦略分野に集中的に投資する。補正予算を前提とした予算編成と決別し、複数年で機動的な財政出動を可能にする 	<ul style="list-style-type: none"> 日米同盟軸に、自由で開かれたインド太平洋（FOIP）を推進する。中国とは開かれた対話を通じ建設的・安定的な関係構築を目指す 全ての拉致被害者の即時一括帰国の実現に向け、手段を尽くす 防衛装備移転を非戦闘目的の5類型に限るルールを撤廃する。26年中に安保3文書を改定する 国家情報局や対外情報機関の創設でインテリジェンスを強化する 自衛隊の明記など4項目の憲法改正に向け、国民に丁寧に説明する 	<ul style="list-style-type: none"> 地域医療や介護などの基盤を守るため、従事する幅広い職種の実質的な賃上げを図る 社会保障支出の伸びを抑え、社会保険料負担を見直す 若者や現役世代を含む中低所得者の税・社会保険料負担を軽減し、所得に応じて手取りが増えるように「給付付き税額控除」の制度設計を進める 	<ul style="list-style-type: none"> 衆院選挙制度は、衆院議長の下に設けられた協議会で結論を得る必要な法改正を実施する。1割を目標に衆院議員定数を削減するため、次期国会で法案成立を目指す 政治資金の在り方について、国会に置かれる有識者会議において幅広く検討する。2027年9月までに結論を得て、必要な法制上の措置を講じる 「禁止よりも公開」のもとに透明性・公開性の一層の強化を図る 安定的な皇位継承のため「皇族には認められていない養子縁組を可能とし、皇統に属する男系男子を皇族とする」案を第一優先し、皇室典範の改正を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> 旧氏使用ができないことで不便を感じている方に寄り添い、旧氏の通称使用の法制化を目指す 幼児期から大学院、社会人まで一貫通貫の公教育の質を向上し、高校授業料の無償化を機に新たな財政支援で高等教育改革を進める 標準的な出産費用の自己負担の無償化など、妊娠・出産に伴う経済的負担を軽減するための法案を次期国会に提出する 育児・こどもの不登校、介護が原因の離職を減らすため、ベビーシッターや家事支援サービスの利用促進に向けた負担を軽減する
B党	<ul style="list-style-type: none"> 食料品を2年間に限り消費税を対象としないことについて、「国民会議」で財源やスケジュールなど実現に向けた検討を加速する 日本版 DOGE で租税特別措置（租特）や基金を総点検し、積極財政の財源を生み出す 首都中枢機能を代替できる「副首都」をつくり、東京一極集中から多極成長型に移行 	<ul style="list-style-type: none"> 安保3文書の改定を前倒しする。次世代の動力を活用した潜水艦の保有を推進する。原子力潜水艦の共有など、日米同盟を一層深化させる 「国家情報会議」「国家情報局」「対外情報庁」を創設する。スパイ防止法を制定し、インテリジェンス機能を強化する 	<ul style="list-style-type: none"> 国民医療費を年間4兆円以上削減する。後期高齢者支援金の削減などで現役世代1人当たりの社会保険料を年間6万円引き下げる。高齢者の医療費窓口負担を原則3割に引き上げる 最低保障年金、最低所得保障制度、国会議員の議論を主導する 	<ul style="list-style-type: none"> 衆院議員定数1割削減を次期国会で成立させる。政治資金の収入に関する法案を提出する 政党法を制定し政党のガバナンスを確立。小選挙区比例代表制の廃止や中選挙区制の導入を含め検討する 	<ul style="list-style-type: none"> 旧氏使用に法的効力を与える 高校に続き、教育の全過程にかかる費用を所得制限なく無償化する。中学校の給食を無償化する
C党	<ul style="list-style-type: none"> 2026年秋から食料品にかかる消費税を恒久的にゼロにする。財源は政府系ファンドの創設や政府基金・剰余金の活用により捻出する。インボイスを廃止し中小企業やフリーランスを支援する 税金の無駄遣いをなくし、国の基金のルール見直しによる「賢い財政」で円安によるインフレから家計と中小企業を守る 早期に全国で最低賃金1500円以上を目指す。取引適正化によりサプライチェーン全体で価格転嫁を進め賃上げの原資を確保できるようにする 「奨学金返済減税」や投資額の一部を税額控除する「少額投資非課税制度（NISA）減税」制度を新設する 家賃補助や安価な住宅を提供し「住まいの安心」を確保する 	<ul style="list-style-type: none"> 現実的な安全保障政策で国民を守る。専守防衛に徹しつつ日米同盟を深化させる。日米韓で連携する 平和安全法制が定める存立危機事態で自国防衛のための自衛権行使は合憲 宇宙、サイバー、電磁波などの新領域を統合した作戦能力を向上させる 「核なき世界」を目指し「非核三原則」を堅持する 米国の関税を巡り各国との経済連携協定などを活用し自由貿易体制を維持・強化する 中国に関する懸念に毅然と対応する。中長期的視点に立った戦略的互惠関係を構築する 	<ul style="list-style-type: none"> 給付付き税額控除制度を創設し、中所得者や減税効果が薄い低所得層を支援する。社会保険料負担が生じ手取りが減る「130万円のカケ」を解消する 医療や介護などのサービスを維持したまま現役世代の社会保険料負担を軽減する。労働者と企業が負担する社会保険料の一部を国が支援する仕組みをつくる 医療・介護・保育・障害福祉の従事者の給与を引き上げる。経営困難な医療機関を支援する 高額療養費制度の自己負担上限の引き上げを抑制する 	<ul style="list-style-type: none"> 企業・団体献金の規制を強化する。政治資金を監視する第三者機関を創設する インターネット投票の導入や立候補年齢の18歳への引き下げを目指す。国会議員の定数を削減する SNSなどの偽・誤情報や候補者への誹謗（ひぼう）中傷などは表現の自由とのバランスを取ながら対応を強化する 	<ul style="list-style-type: none"> 0～2歳児を含む就学前教育・保育の無償化を進める。小中学校の給食費を軽減する。高校生の授業料以外の教育費の負担軽減を図る 障害児福祉手当の所得制限を撤廃する 選択的夫婦別姓制度を導入する。「共家事・子育て」を推進する 同性婚を法制化する
D党	<ul style="list-style-type: none"> 住民税の控除額を178万円に引き上げる。「年取の壁」基礎控除の所得制限を撤廃する。賃金上昇率が物価+2%に安定するまで消費税を一律5%に引き下げる 中低所得者を対象にした家賃控除制度を新たに設ける。「空室税」を導入し、投資目的の不動産売買を抑制する 	<ul style="list-style-type: none"> 日米同盟を強化しつつ安全保障を巡る米国内への過度な依存を見直す。国内の防衛生産・技術基盤を強化する レアアース（希土類）採掘を本格化する。スパイ防止法を制定する。情報機関を統合し情報収集体制を拡充する 	<ul style="list-style-type: none"> 社会保険料の負担を減らすため還付制度を創設する。賃上げする中小・零細企業の社会保険料を半減する 業価の中間年改定を廃止する。医薬品を安定供給し創業基盤を支える人材を育成する 	<ul style="list-style-type: none"> 企業・団体献金や政党運営の透明性を向上させる 中選挙区連記制の導入や議員定数の削減など抜本的な選挙制度改革を実行する 憲法を改正し緊急事態でも絶対に制限してはならない人権の保障を明記する インターネット投票を導入する。被選挙権年齢を18歳に引き下げる。 	<ul style="list-style-type: none"> 年5兆円の「教育国債」を発行する。高校までの教育費を完全無償化する 子育てや障害福祉、奨学金の所得制限を撤廃する 選択的夫婦別姓制度を導入する 奨学金の返済額を減免する。教員と自衛官は全額免除する
E党	<ul style="list-style-type: none"> 消費税は廃止を目指して直ちに5%に減税する。インボイス制度を廃止する。大企業や富裕層に応分負担を求める税制改革で財源を確保する 物価高騰を上回る大幅な賃上げを実現する。最低賃金を時給1700円に引き上げる。大企業の内部留保に時限的に課税する 	<ul style="list-style-type: none"> 安全保障法制を廃止し「安保3文書」を撤回する。核兵器禁止条約に参加する 米軍普天間基地の辺野古移設、スパイ防止法に反対 	<ul style="list-style-type: none"> マクロ経済スライドを廃止し、物価・賃金に合わせた年々引き上げ 介護保険の国庫負担を引き上げ、国の支出を1.3兆円増やす 	<ul style="list-style-type: none"> 企業団体献金を全面禁止し、政党助成金制度を廃止する 	<ul style="list-style-type: none"> 選択的夫婦別姓、同性婚を導入する。すべての子どもを対象に給食を無償化する

ここでは「党名」は伏せてあるが、次ページに掲載してある

先生：出来たかな？

隆史：○×をつけ終わりました。

先生：さて、○×をつけ終わって、「○」が一番多い政党が、とりあえず隆史君が投票すべき政党の「第一候補」なんだよ。

隆史：え——！！ そんなに簡単に投票先を決めていいんですか？

先生：たしかにすべての政党の政策を理解して、比較してから選択するのがベストだよ。でもね、そこまで完璧にしている人はほとんどいないと思うよ。

「でも」って思うかもしれないな。君たち若い世代は「完璧主義」だからね……。私だって「すべての政党の政策」と言われたらひるんでしまうよ。だから、自分にとって一番望ましい政策を考えて、そのテーマを比較して投票しているんだよ。



深めよう

実際に自分でマニフェストを入手して、「政治とカネ」「経済・財政問題」「外交・安保・憲法問題」「社会保障・ジェンダーの問題」「原発・エネルギー問題」「地方活性化」「その他の問題」

などの項目を立てて、それぞれの政党の主張を自分なりにまとめてみよう。マニフェストは各政党ごとにホームページなどでも公表している。

キリトリ線

せいとう た
政党その他の
せいじ だんたい
政治団体の
めいしょう また りやくしょう
名称又は略称

欄内にひとつ書くこと

○ 注意
政党その他の政治団体の名称又は略称は

回衆議院 比例代表選出議員選挙投票



やってみよう

模擬選挙

左の投票用紙を使って、これまで考えて整理してきた自分なりの考えに基づいて、模擬選挙をクラスなどで取り組んでみよう（ここでは政党名を記入して投票する、比例代表選挙の投票用紙を示した）。

地元の選挙管理委員会などに連絡すると、本物の投票用紙や投票箱を使わせてくれることもある。模擬選挙をやることになったら、問い合わせてみよう。

都道府県の選挙管理委員会が分かるアドレス

http://www.soumu.go.jp/senkyo/senkyo_s/links/senkan/

【政党のマニフェスト要約 党名】

政党名 A 党 自由民主党 B 党 日本維新の会
C 党 中道改革連合 D 党 国民民主党
E 党 日本共産党



憲子：なんだか肩の力が抜けてきました。これまで選挙って言うと、どうしても「将来の日本を決める」というイメージが強くて、とっつきにくかったんですね。

先生：そうなんだ。しかし、いま選んだテーマは2つだったけれど、望ましい政策をかなえるために、どうやって実行するかまでを考えていくと、政治についての関心はさらに深まっていくはず、そして3つでも4つでも比較することが出来ることを忘れてはいけないよ。そして、少しずつ政党の主張や社会の仕組みを理解していく必要があるよ。そこは自分で努力してほしい。

隆史：ボートマッチ (vote match) というものがあると、聞いたのですが。

先生：選挙に関するインターネット・サービスだよ。立候補者や政党に対して、選挙で争点となりそうな政策に関するアンケートに答えてもらい、それをデータベース化するものなんだ。そして、私たちが同じアンケートに回答する事で、立候補者や政党との考え方の一致度を測定することができるというものだよ。

憲子：どんなふうにするんですか？

先生：インターネットで「あなたは原発の再稼働に賛成ですか」との質問に、「YES」か「NO」かで答える。次に「あなたはTPP締結に賛成ですか」に答える。そうして20項目くらい答えると、「あなたは、〇〇党の政策の一致度△%。××党の政策の一致度□%……」などが出るんだ。さっき「政策などをすべて知っていないと、投票に行けないのか」という質問に答えたよね。

憲子：ええ、興味のある政策を比較して投票すればよい、とっていただきました。このボートマッチは、政党の政策と私の興味のあることをうまく「マッチ」させてくれるものなんですね。

先生：確かに、自分の興味と政党の政策を簡単にマッチングさせてくれるものではあるが、これが「絶対」と思ってしまうのはいけないよ。あくまでも参考程度に考えておき、マニフェストなどを使って自分で調べ、比較することが大事であることは理解して下さい。

隆史：先生、選挙へのハードルがずいぶん低くなりました。投票できるようになったら絶対、選挙に行きますね！ ありがとうございました。



選挙 Q&A

Q1：税金を払っていないので、選挙権はない？

A1：選挙権は権利ですから、納税に関係なくすべての日本国民にあります。

Q2：選挙当日になっても「選挙に来て下さい」のハガキ（封書）が来ないので、投票に行けない？

A2：ハガキ（封書）は原則として「世帯」ごとに来ますので、保護者への連絡と一緒にあります。また、ハガキがなくても身分証明書などを持って行くと投票できます。

Q3：投票日当日、友人達とディズニーランドに行く予定が入っている。「遊び」が理由だと期日前投票は出来ない？

A3：期日前投票は、「仕事」など以外にも「レジャー」などの理由でも出来ます。公示又は告示日の翌日から選挙前日まで行うことが出来ます。

Q4：住民票は実家ですがいま下宿しています。いま住んでいるところで投票はできないのですか？

A4：住民票のある選挙区での選挙権はありますが、住民登録していない地域での選挙権はありません。当該選挙の告示日の前日の3か月前までに住民票を移動させておく必要があります。

